

熊本県指定重要文化財

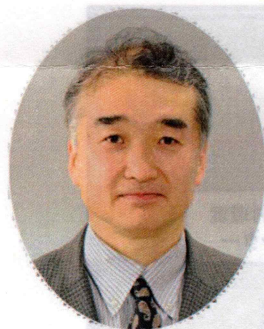
# 下里御大師堂落成記念講演会



記念講演 「下里御大師堂の価値と

修理工事の意義（仮）」

講師 伊東 龍一氏(熊本大学名誉教授)



期日 令和5年12月10日(日)  
午前11時～12時00分  
(開場10時30分)

場所 湯前町農村環境改善センター

主催：湯前町

共催：湯前町教育委員会、湯前町下里区

申込先：〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1834-1 湯前町教育委員会

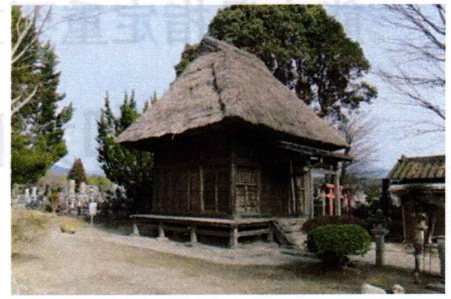
電話 0966-43-2050

FAX 0966-43-3373

メール sha-kyouiku@yunomae.kumamoto.jp

湯前町では、平成 30 年度から令和 5 年度にかけて、熊本県指定重要文化財下里御大師堂の保存修理工事を実施しました。この度の修理によって、部材から多くの墨書<sup>ぼくしょ</sup>が見つかり、これまで明確ではなかった建築年代が江戸時代前期の延宝 4 年（1676 年）であることが判明しました。

熊本大学で長らく教授を務め、多くの文化財建造物の調査に携わられた伊東龍一氏に、新たな知見を踏まえて、下里御大師堂の価値と修理工事の意義について講演していただきます。



下里御大師堂(工事前)

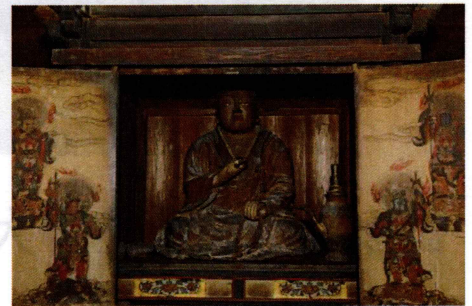


下里御大師堂(工事後)

### 下里御大師堂について

下里御大師堂の創建については不明ですが、もとは吉祥院<sup>きつしょういん</sup>という寺院のなかの一堂宇でした。江戸時代には、相良氏の菩提寺願成寺の門下に属する真言宗寺院でした。明治になって吉祥院は廃寺となり、御大師堂だけが地域の人々によって守られてきました。

堂内には応永 7 年（1400 年）作<sup>もくぞうこうぼうだいしぎぞう</sup>の木造弘法大師坐像が安置され、県指定重要文化財に指定されています。この他、賀咩<sup>がうん</sup>作の須弥壇<sup>しゆみだん</sup>や平安時代後期<sup>びしやもんでん</sup>の毘沙門天立像<sup>りゅうぞう</sup>、四所明神像<sup>ししよみょうじんぞう</sup>、板絵著色神像<sup>いたえちやくしよくしんぞう</sup>など多くの文化財があります。



木造弘法大師坐像

